



2020  
カンヌ国際映画祭  
オフィシャルセレクション

UN FILM  
DE  
SUZANNE LINDON

seize printemps

AVENUE 6 PRODUCTIONS PRÉSENTE  
SUZANNE LINDON ARNAUD VALOIS  
scénario de FRÉDÉRIC PIERROT, FLORENCE VIATA de lauréat de la section "Cinéma de la jeunesse"  
révisé par ALBERT GUILLERMIN, FRANÇOISE WIDHOF, RAYMOND ACCOYAN  
avec la participation de DOMINIQUE BESNEHARD et PHILIPPE UCHAN  
produit par CAROLINE BOMMARCHAND - coproducteur JÉRÉMIE ATTARD - coproducteur PASCALE CHAVANCE - coproducteur VINCENT DELERAY - coproducteur RÉMI DUREL - coproducteur ILIË TRIBOUT  
montage par NATALIA DUCREY - scripte JOSÉPHINE PIET - directeur de la photographie GUILLAUME DOMIERE - directeur de la production ANTOINETTE LONCARGUES - directeur de la production CHRISTOPHE OLIVEIRA - réalisateur ALEXANDRE KASSIS - directeur de la production MONICA MELE - directrice de la production ANIKA SALMI  
coproducteur AVENUE 6 PRODUCTIONS - BANGLMI - ESKWAD - en association avec PANAMÉ DISTRIBUTION  
coproducteur de LA RÉGION ÎLE-DE-FRANCE et LE CENTRE NATIONAL DU CINÉMA ET DE L'IMAGE ANIMÉE en association avec LE CLANRI

キャスト：スザンヌ・ランドン、アルノー・ガロワ、アレクサンドル・セエロ、フロラン・スフィアラ、レナ・カマルデーロ  
監督・脚本：スザンヌ・ランドン 編集：バスカル・シャヴァンス 音楽：ヴァンサン・ドレム 2020年/フランス/77分/黒白-16 Printemps (Seize Printemps)  
配給：太秦、ノーム

スニーカーと  
生意気な白いシャツ…  
夏がはじまる

『スザンヌ、16歳』  
公開記念

〈心揺さぶる少女たちの  
記憶・傑作映画〉  
一挙上映

「悲しみに、こんにちは」  
特別上映  
「なまいきシャルロット」

スザンヌ、16歳

2000年生まれの瑞々しい感性がほとばしる。超新鋭スザンヌ・ランドンが描く、ヒリヒリとした思春期と甘酸っぱい恋物語。



2020  
**カンヌ国際映画祭**  
 オフィシャルセレクション

トント国際映画祭  
 新人監督コンペティション

シカゴ国際映画祭  
 新人監督コンペティション

ニューホライズズ国際映画祭  
 スザナジャゴゴルスカ賞(最年少フィルムメイカー)

ミンスク国際映画祭  
 審査員特別賞

サンセバスチャン国際映画祭  
 新人監督コンペティション

マルデルプラタ国際映画祭  
 SIGNIS賞



**カンヌ国際映画祭 オフィシャルセレクション 選定!**

**世界がこの若すぎる才能に驚嘆!!**

**ヌーヴェル・ヴァーグ映画を継承しながら新世代の感性を融合させた、**

**もっとも新しいフランス映画が誕生!**

*seize printemps*

2020年カンヌ国際映画祭。史上2度目の開催中止により新設された「オフィシャルセレクション」に選定された一本の映画が、大きな話題を呼んだ。二十歳の超新鋭スザヌ・ランドンが脚本、監督、主演をつとめた本作『スザヌ、16歳』。彼女が脚本を書いたのは、15歳のとき。パリ・モンマルトルを舞台に高校生が年の離れた大人の男性に恋をする「ひと夏の物語」には、当時、誰にも打ち明けることのできなかったスザヌ自身の思春期の憂鬱や恋愛への憧れが描かれた。映画制作に着手したのは、19歳。主演俳優として複雑でアンバランスな少女を体現し、監督としてその繊細な魅力のみずみずしくスクリーンに映し出した。

**STORY** スザヌは16歳。同年代の友人たちに退屈している。恋に憧れはあるけれど、学校の男の子たちが魅力的とは思えない。ある日彼女は、劇場の前で年の離れた舞台俳優のラファエルと出会う。彼もまた繰り返される舞台や仲間たちとの付き合いに退屈していた。そんな二人はすぐに恋に落ちる。けれどスザヌは、彼に夢中になればなるほど、不安にもなりはじめる。自分が思い描いていた“16歳の時”が、どこかに消えていってしまいそうで…

監督・脚本：スザヌ・ランドン 編集：パスカル・シャヴァンス 音楽：ヴァンサン・ドレム CAST：スザヌ・ランドン、アルノー・ヴァロワ、フレデリック・ピエロ、フロランス・ヴィアラ、レベッカ・マルデル  
 2020年/フランス/77分/原題：16 Printemps (Seize Printemps) / 日本語字幕：手束紀子 配給：太秦、ノム [@suzanne16\\_film](https://twitter.com/suzanne16_film) [www.suzanne16.com](http://www.suzanne16.com)

**『スザヌ、16歳』公開記念〈心揺さぶる少女たちの記憶・傑作映画〉一挙上映**



**「悲しみに、こんにちは」**

かつて少女だった私たちへー 小さな子どもから少女へと至る、人生で最も異質な時間。幼き心が初めて生と死に触れる“特別な夏”を描いた少女映画の名作!

両親を“ある病気”で亡くし一人になったフリダは、バルセロナの祖父母の元を離れ、カタルーニャの田舎に住む若い叔父家族と一緒に暮らすことになる。母親の入院中、祖母たちに甘やかされて育てられていた都会っ子のフリダ。一方、田舎で自給自足の生活を送っている叔父と叔母、そして幼いとこのアナ。彼らは、家族の一員としてフリダを温かく迎え入れるが、本当の家族のように馴染むのには互いに時間がかかり…。

監督：カルラ・シモン 2017年/スペイン/100分/英題：Summer 1993 ©2015, SUMMER 1993



**特別上映「なまいきシャルロット」**

シャルロット・ゲンズブール、14歳のデビュー作! 思春期特有のコンプレックスや悩みを抱える13歳の少女を、等身大の瑞々しさと好演し史上最年少でセザール賞の有望若手女優賞を受賞した伝説の少女映画。

カーソン・マッカーズの名作小説『結婚式のメンバー』にインスパイアされた思春期の少女を描いた青春ドラマ。シャルロットは少し早熟な13歳。こここのところ学校や家での退屈な毎日に苛立っている。唯一の友だちは近所に住む幼いイルルだけだった。そんなある日、自分と同じ歳の天才ピアニスト・クララが町にやってくる。シャルロットは彼女に魅惑され夢中になっていく。

監督：クロード・ミレル 1985年/フランス/96分/原題：L'EFFRONTEE ©TF1 FILMS PRODUCTION - MONTHYON FILMS - FRANCE 2 CINEMA  
 作品問合せ：太秦 03-5367-6073

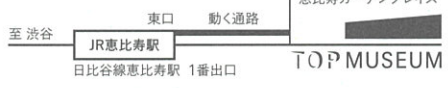
**9.22(水)～30(木) 10.5(火)～8(金) 10.12(火)～15(金)** スザヌ、16歳 (S)、悲しみに、こんにちは (K)、なまいきシャルロット (N)

9月	22(水)	23(木)	24(金)	25(土)	26(日)	28(火)	29(水)	30(木)
13:00	K	K	K	K	K	K	K	K
15:30	S	S	S	S	S	S	S	S

10月	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)
13:00	S	S	S	S	K	N	N	N
15:30	S	S	S	S	S	S	S	S

休映日：9月27日(月)、10月1日(金)、2日(土)、3日(日)、4日(月)、9日(土)、10日(日)、11日(月)

〈料金〉一般 1,800円 シニア 1,200円  
 学生(大学・専門学校)、高校生以上 1,500円 中学生以下(3歳以上) 1,200円  
 障害者手帳をお持ちの方(介護者2名まで) 1,200円



恵比寿ガーデンプレイス  
 東京都写真美術館ホール  
 03-3280-0099(代表) www.topmuseum.jp